

「One Minute Video」制作の事例 -東海大学付属静岡翔洋高等学校編-

情報処理研究部顧問 橋本 衛

<p>授業の目的</p>	<p>映像制作の基礎を1分間の映像制作の過程を通じ実践的に学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマにそって、調べたいことと、伝えたいことを明らかにし、表現する技術・方法を身につける。 ・文字・画像・映像・音声などの特色や活用法を学ぶ。 ・分担や教え合い学び合う協働作業を通してコミュニケーションの重要性を理解する。 ・映像作品を企画、撮影、編集、完成し、発信することにより社会的な評価を経験しめる。
<p>授業対象と回数</p>	<p>部活動：高校1～3年生、部員10名</p> <p>部活動の時間 1時間 20日程度</p>
<p>授業の流れ</p>	<p>企画を考える</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) テーマにそった企画・構成を考える。 2) 作品の意図や伝えたいことを明確にする。 <p>絵コンテ作成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 企画に沿って絵コンテを作成する。 <p>撮影</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 撮影許可申請：撮影素材における著作権、肖像権に伴う手続き 2) 撮影：撮影における役割を決める 3) ラッシュ試写：撮影素材のスタッフ試写 <p>映像編集</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 映像編集：プレミアでの映像編集 2) 音編集：BGM 3) 仕上げ：文字情報編集 <p>完成上映、・出品</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 完成上映 2) 学外コンテストへの参加申し込み
<p>使用機器</p>	<p><映像撮影カメラ></p> <p>小型映像カメラ 各自のスマートフォン</p> <p><編集ソフト></p> <p>Adobe社 Premiere-Pro、Apple社 iMovie、他</p>
<p>これまでの取組と意義</p>	<p>情報処理研究部では、2012年の1回目から「One Minute Video コンテスト」に応募している。</p> <p>このコンテストの主旨は「私たちの暮らす地球は環境破壊や温暖化、人口爆発など大きな問題に直面しています。しかし、地球の事を考えることは自分</p>

たちの日頃の生活を振り返ることから始まります。一人ひとりの小さな行動が地球を守る大きな歩みになるのです。何をすると良いのか、1分間の映像制作を通して表現しよう。」であった。

この応募へのきっかけは、東海大学文学部広報メディア学科の五嶋正治教授の呼びかけであった。

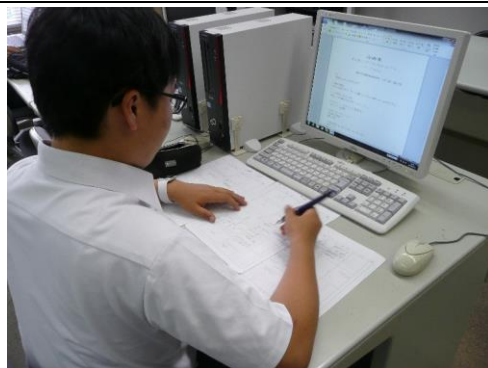
生徒たちはユニセフのホームページやインターネットを通して、世界でどのようなことが起きているかを調べ、世界の子供たちが紛争、貧困、飢餓、水不足などによって、命にかかわる問題を多く抱えていることを初めて知る。そして生徒たちは自分の生活の中では意識しなかったことを、具体的なデータから地球上の問題として知ることができた。

また身近な生活のなかで地球環境を守るために、自分ができることは何かを考え、それぞれのテーマを見つけ、企画書にまとめ自分の考えを整理していく。そして絵コンテを書きどのように映像化したいのかを決めていく。

この映像制作を通して、比較的恵まれた生活を送っている生徒が世界の子供たちの現状を知り、グローバルな形で資源のことを考え、生活の無駄を無くす努力をするようになったのではないかと思う。

また、世の中の矛盾に疑問を持つなど心の内面を映像で表現した生徒は、他者の思いに立って物事を考えるようになったのではないかと考える。

絵コンテ作成



撮影



編集



以上